

# 一三四 秋季大祭

この名称の理にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教分教会長 慎んで申し上げます

親神様には深い親心の上から いろくど心の成人への道をお連れ通り下され 日々は届かぬ乍らも栄えある世界のふしんのよふぼくとしてお使い頂き 洵に感謝の念に堪えません

中にもこの十月二十六日は 教祖魂のいんねん やしきのいんねん・旬刻限の理により 親神様直々の最後の教が垂示された元一日に当たりますので 御本部では立教一六△年の秋季大祭がつとめられますが その理を受け て只今からこの教会の秋季大祭を明るく勇んでつとめさせて頂きます

茲に改めて立教の元一日は 教祖を通し「世界一列をたすけるために天降った」であり “だんく”とよふぼくにてはこのよふをはじめたをやがみ な入りこむで “ ” このようをはじめたをやが入り込めば どんなことをもする

やしれんで “どのお言葉通り 将来の陽気世界を目指し 世界中の多くの人々の中から一日早くこのお道にお引き寄せ下された私達よふぼくはその使命の重さを一段と強く自覚し 先ずは周囲の人々の身近な心の

闇路にたすけの手を伸ばすべく一手一つに歩ませて頂いておりますが いよいよ来春三月〇〇日にはこれの教会の創立〇〇年をお迎えさせて頂きま す かかる意義深い時句を臨む今日の大祭を通し 改めてその活動目標

たる “「教祖伝」を熟読し 真の親心を学ぼう “ 教会の創立記念祭に向って一日一枚のパンフレット配りの実現 “をそれぞれの心に体し 混迷を深める今日の世界に真の親を知らせ 真の親の働きを教えて

一列を澄ます努力を重ねて参りますが 親神様には私達の馳せ巡る先々に不思議々々の理が現われ 地域社会に思召下さる神人和楽 親子団欒の陽気ぐらしの輪が更に広く大きく拡がって参りますようお導き

の程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます